

介護支援専門員離職理由

<p>社会 福祉 士</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の人事異動。資格を活用して業務を行う場面がない。 ・配偶者の転勤のため ・他の障害者のグループホームに転勤したため、元々の希望 ・経営母体が不良のため（政治団体？宗教団体？） ・ケースの自立と子どもの看護・孫の世話が重なったため（近日復帰予定） ・法人異動で、現在地域包括支援センターに勤務のため ・法人異動、現在管理職のため 2 ・総務へ異動 ・法人内異動で、他のソーシャルワークの仕事に就いたため ・職場の都合 ・養護老人ホームへの異動 ・病院ソーシャルワーカーへの転勤 ・会社が居宅介護支援事業所を閉めたため
<p>社会 福祉 主事 任用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険が求めている人間像を見いだせなかったため ・能力の限界、サポートを持てなかった、ひとりケアマネ ・忙しすぎ、制度に追いつけられ立ち止まらずに流される ・地域包括支援センターの職員となったため ・老健の支援相談員と兼務だったが、仕事量も厳しく、待遇も見合わないので退職 ・仕事と家庭の両立が困難となったため、会社は女性が働きやすい配慮はしていたが、仕事が多く負担であった。
<p>看護 師</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所との併設で訪問看護と兼務していたが、法改正で仕事量が膨大となり、居宅介護支援事業所を閉めることとなったため ・兼任で書類が多く、ケアマネが多いところはいいが、仕事量が多くなり体力的にも継続困難、しかし、ケアマネの仕事が嫌であったわけではない ・訪問看護師との両立が難しい 3 ・訪問看護と兼務していたが専任のケアマネがきたため ・居宅介護支援事業所の閉鎖のため ・在宅介護支援センターと居宅介護支援事業所の兼務だったが、兼務のため心身のバランスを崩したため ・あまりにもお金のための締め付けが多く、現場はとても厳しい状態 ・18年度改正で利用者のニーズにあったケアプランが提案できにくくなったこと ・ケアマネ業務などひととおり学べたと思うので ・実家の老親世帯へのフォローが必要となり、週1回の老親訪問と両立できないため ・子どもの母であり、子どもの体調不良時に利用者及びその家族の緊急対応等があり、両立に限界を感じた ・姑の介護のため（姑は介護保険サービスを拒否） ・体調を崩したため ・病気のため ・結婚、出産・育児等のため 4 ・家庭の事情 ・他の職種への転職のため ・資格上、困難ケースを受け持つことが多く、土日の対応があったり、勤務時間内に認定調査を行わなければならなかったり、過程との両立が難しい（サービス担当者会議の調整も思った以上に時間が掛かる。） ・時間外に仕事の電話が掛かってくる。給料が安い、今はNSとして仕事をしている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者の転職のため 2 ・本人・家族の生活全般に関わると精神的に疲れてしまった、守備範囲が広すぎる ・各個人宅の訪問が体力的にきつい ・家族の死亡他家庭の都合 ・職場の看護職不足のため（看護師についたため） 3 ・無駄に忙しいが、利用する側も仕事内容としても前向きな方向に進みがたいため。ケアマネの責任へのバックアップが足りないと感じたため ・自治体は民間事業者を守るといいながら、口ばかりで切り捨てる ・資格を活かした仕事を続けたかったが、看護資格を活かした仕事を行うことで、また違った視点で地域看護が見れると思い、病院勤務に移った ・結婚と家族の介護 ・ケアマネジメント勤務をきちんと教えてくれる環境ではなかった。休日も自宅に電話が来る等、公私ともに休めなかった。事業所が守ってくれなかった。 ・看護師業務兼務のため、思うように動くことができなかった ・困難ケースに振り回された。アドバイスしてくれる上司がいなく、同僚と対応していたが疲れた。また、訪問看護をしたかった。 ・転職のため ・定年退職のため ・ケアマネ取得後、社会福祉士、PSW の資格を取ったが、医療の方に心が向いた。地域包括支援センターで力が尽きた。
保健師	<ul style="list-style-type: none"> ・元々、ケアマネの欠員補充のためであったためなので
介護福祉士	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活を支えるというプレッシャーに耐えられなかった。 ・事業所でのケアプラン作成依頼が減ったため ・区役所の基幹型在宅介護支援センターと居宅介護支援事業所の廃止のため ・訪問介護と同系列の事業所。訪問介護事業者が不正が多く、また職員の不正を都に通報したため ・前のケアマネが辞めたため兼務していたが、新しいケアマネが入ったため ・ケースが70を超え、営業的な役割を担わざるを得ず、訪問の質が保てなくなった。辛くなった ・介護支援専門員に2年ほど携わり、在宅を支える訪問介護員、看護師等連携の大切さがお客様の生きる姿に寄り添えると思った。たまたま居宅介護支援事業所のスーパーバイザーの役割を与えられたため、サービス担当責任者、登録ヘルパーさん、ケアマネの指導係となるため休止している。何年後かにはまた始めたい。 ・ヘルパー業務（欠勤、不足）、ヘルパー交替、異動等のための同行訪問繁雑で、給付管理、サービス調整が休日対応となり、疲労蓄積のため ・勤務先の給料未払いがあり、とてもやられる状態でなかった ・教員になりたかった+事業所内でいつもトラブルがあった ・これまで老健、相談員業務と兼務、居宅もやってみたかったため。通所介護と兼務 ・デイの相談員と兼務、多忙になりデイの仕事に支障があり休止（20.4と専任ケアマネになった） ・ケアプラン作成後、ケアマネ資格を持たない主任たちが毎月書き直しを求めてくる ・都や労基署に総合しても、施設で改善してくださいといわれた（サポートがない） ・賃金が安い（ヘルパーと同額） ・管理職業務についたため 2

	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長に就任したため ・病院内での異動により ・仕事部署が変わったため 4 ・特養老人ホームから、ケアハウスへの異動のため ・ケアマネ兼務から、ケアワーカー専任になったため ・ケアマネが新しく入ったら辞める約束だったので ・都合のため ・結婚・出産・育児などのため 3 ・施設内で交替したため ・人事異動のため ・会社都合 ・夫の転勤など 2 ・家庭の事情 ・定年退職のため 2
ヘルパー養成	<ul style="list-style-type: none"> ・社福の指定業務受託法人で、認定調査のみを行っている ・社内異動
管理栄養士	<ul style="list-style-type: none"> ・施設ケアマンをしていたが、上司の理解がなく、協力もなく責任がのしかかる状態で、書類作成マシンとされたため ・家族介護を行うため
薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> ・本業の人出不足でやむを得ず休止 ・ケアマネが揃ってきており、経営者としての（仕事を）果たすため（居宅介護支援事業所とグループホームを経営している）
歯科衛生士	<ul style="list-style-type: none"> ・給料の割に責任が重く、書類作成に追われ、利用者本位でなく失望した ・常勤としての働き方に無理がある ・介護支援専門員として認定調査は行っているが、ケアプランは行っていない ・会社が閉鎖となったため ・体調不良のため
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・療養型病院閉鎖のため（医師） ・施設内異動で他の職種へ